

8. 茨城県「エコで、社会復帰。」

障害者が、バイオディーゼル燃料作りに大活躍。町の需要もうなぎのぼり！

【団 体】社会福祉法人創志会つくばライフサポートセンターみどりの

【タイトル】福祉が創るつくばのエコオイル

【活動概要】

障害者が職業訓練の一環としてBDF（バイオディーゼル燃料）の精製に取り組んでいます。原料の廃食用油は地元スーパーなどと提携して集め、精製したBDFは地元スーパーの配送車や市内のスクールバス等の燃料へ。資源循環システムができあがっています。スクールバスを利用する生徒や関係する人々が温暖化問題へ意識を高めるのにも役立っていますし、主体である障害者は、地域の人々とふれあうことで自信とやりがいを感じる機会になっています。



【問い合わせ先】

茨城県地球温暖化防止活動推進センター TEL 029-248-7431

<http://business2.plala.or.jp/ibakobo/senta/ondanka.html>

9. 栃木県「石油のかわりに温泉があるじゃん。」

石油に替わるクリーンエネルギーとして温泉の余熱・廃熱を使う、那須温泉の取り組み。

【団 体】那須温泉地球温暖化対策地域協議会

【タイトル】那須温泉地域CO₂削減計画

【活動概要】

県内でも有数の温泉地、那須温泉。豊富な湧出量を誇る温泉は未利用エネルギーです。その温泉の余熱や廃熱を暖房や道路の融雪に使うなどの工夫を取り入れました。ホテルなどでもシャワーの廃湯、温泉の放熱などを利用したヒートポンプを導入し、灯油や重油を中心としたボイラー設備は補助的に使うのにとどめています。1998年の那須水害で壊滅的な打撃を受けた那須温泉、地域ぐるみで地球温暖化に立ち向かっています。



【問い合わせ先】

栃木県地球温暖化防止活動推進センター TEL 028-673-9101

<http://homepage3.nifty.com/tochiondan/ecosagase.html>

10. 群馬県「燃やすなら、ガソリンより脂肪でしょ？」

自転車&徒歩通勤で運動不足も解消。市役所ぐるみの「てくてくりんりんプラン」。

【団 体】伊勢崎市役所

【タイトル】てくてく・りんりんプラン

【活動概要】

職員が通勤するときにてくてく歩いたり、りんりん自転車に乗ったり、公共交通機関を利用。地球温暖化、大気汚染などの環境問題への取り組みであると同時に、通勤時の交通混雑の緩和も期待できます。職員自らが行動することで市民や事業者にも協力を呼びかける効果があります。データは毎月集め、CO₂排出削減量を測定。熱心に取り組んでいる職員や部署は庁内に公開し、より多くの職員に参加を呼びかけています。



【問い合わせ先】

群馬県地球温暖化防止活動推進センター TEL 027-237-1103

<http://www15.wind.ne.jp/ccca-gunma/>

11. 埼玉県「ビギナーにおすすめ！1日エコライフ。」

1日エコライフを楽しむ「エコライフDAY」。

8年間で27万人が参加した川口市から、全国に拡大中。

【団 体】特定非営利活動法人 川口市民環境会議

【タイトル】地球温暖化防止「はじめの1歩は・・・エコライフDAY」

【活動概要】

年に1日の「エコライフDAY」、みんなでCO₂削減行動にチャレンジ！独自に作った“1日環境家計簿”を使って1日エコライフ生活をし、減らせたCO₂量を集計・発表します。参加者は取り組み効果を実感することができ、地球温暖化防止への意識の向上と活動への参加が期待できます。今年度は61,041人、県内では41万人もの参加が。集計やデータ分析にはそろばん教室の子ども達、他にも企業や諸団体等、さまざまな組織と手をつなぎながら輪が広がっています。



【問い合わせ先】

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター TEL 048-649-8087

<http://www.kannet-sai.org/concours/>

12. 千葉県「親子で“まちエコ”。」

身近な暮らしからエコに取り組む「親子の日」をスタートした、ニュータウンのこれから。

【団 体】 ユーカリが丘親子の日実行委員会

【タイトル】 ユーカリが丘親子の日 まちエコ宣言！

【活動概要】

環境問題と少子高齢化問題を一体の問題としてとらえ、「エコを楽しみながら考える」街づくりに取り組んでいます。約3万人が参加する「ユーカリ祭り」では山万ユーカリが丘線を無料開放してノーカーを実践したり、「ユーカリまちエコ宣言！『お買い物にはマイバッグを持とう！』」を呼びかけたり、住民の意見や取り組みを募集して「まちエコ宣言」を行ったり。イベントには一部グリーン電力を利用。商店会や学校も巻き込んだ街づくりを展開中。



【問い合わせ先】

千葉県地球温暖化防止活動推進センター TEL 043-246-2180

<http://www.ckz.jp/onndannka/>

13. 東京都「東京を、自転車観光しませんか。」

クルマに替わる、エコな都心交通網へ。

サイクリストみんなで作る「東京自転車グリーンマップ」。

【団 体】 アーバンエコロジー東京

【タイトル】 東京自転車グリーンマップ

【活動概要】

自転車にぴったりのまち、東京。「東京自転車グリーンマップ」を作り、短距離の移動には自転車を使おうと呼びかけています。マップはレンタサイクル、修理店などの自転車情報を網羅しています。サイクリングで素顔の東京を再発見すれば、地域の活性化や健康の増進にもぴったり。自転車でめぐるライフスタイルを提案しています。



代表になれなかった取組でも・・・

大都会東京を意識した一品が都代表になりましたが、東京には昔ながらの里山があったり、江戸の文化を残していたり。あきる野市の里山保全や墨田区の雨水利用や緑のカーテンを地域一体で取り組む活動も魅力的です。

【問い合わせ先】

(株) ブレック研究所内 ストップ温暖化大作戦東京本部 TEL 03-5226-1129

<http://tokyo-co2.jp/>

14. 神奈川県「エコでにぎわう商店街。」

お客からエコマネーで買った生ごみで有機野菜を育て、人気商品に。
みんなが得するエコ商店街。

【団 体】 厚木なかちょう大通り商店街振興組合

【タイトル】 地球温暖化ストップで地球に優しい街づくり

【活動概要】

商店街の中に設置したエコステーションに、会員が持ち込んだ生ごみ百グラムにつきポイント（一円相当）をポイントカード（エコマネー）に加算！生ごみは乾燥させ、東京農業大学に持ち込み不純物を除去、契約農家で堆肥として利用。有機野菜「なかちょう野菜」ブランドとして商店街で販売、循環しています。風と太陽光のハイブリッド街路灯、空き缶・ペットボトルの回収機も設置、先進的な取り組みで名高いエコ商店街です。



【問い合わせ先】

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター TEL 045-321-7453

<http://www.kceca.jp/issonippin.html>

15. 山梨県「回れ！市民の水車発電所！」

木製の水車で電気をつくる小さな市民発電所、元気くん1号。

【団 体】 都留市

【タイトル】 回れ！家中川小水力市民発電所「元気くん1号」！

【活動概要】

水のまち都留市。市制 50 周年を記念したモニュメントが市役所前を流れる歴史ある家中川（かちゅうがわ）にお目見えした小水力発電所「元気くん1号」。市役所隣の小学校校庭との落差わずか2mを利用した昔ながらの木製下掛け水車、視覚的な効果に加え、環境教育へも貢献しています。設置には市民参加型ミニ市場公募債「つるのおんがえし債」を発行、ネーミング効果もあり多くの市民の協力と理解を得ています。



【問い合わせ先】

山梨県地球温暖化防止活動推進センター TEL 055-228-3830

http://www15.plala.or.jp/yamanashi-f21/2007_contest/contest3.html

16. 新潟県「生ごみは、土に返せば、ごみじゃない。」

街中の家庭の生ごみで、いい土づくり。ごみ焼却のCO₂も減った、市民リサイクルです。

【団 体】長岡生ごみ培養土循環システム協議会（ながおかバケツの会）

【タイトル】生ごみを土に戻して「ストップ温暖化！」

【活動概要】

長岡市越路地域 300 世帯の協力で生ごみを燃やさずに土に返す取り組み。広げた生ごみに培養土を薄くかけ、さらに生ゴミを広げ…とサンドイッチしていくと、生ごみは「臭わない、汚汁がでない、虫がわからない」方法で処理できるのです。協力世帯は 2 年で 8 世帯から 300 世帯に拡大。現在、越路地域での全面展開、目標 4,000 世帯の参加を提案中です！



【問い合わせ先】

新潟県地球温暖化防止活動推進センター TEL 025-264-2144

<http://www.eco-niigata.or.jp/essa/>

17. 静岡県「緑のカーテンで、まち中ひんやり。」

朝顔のカーテンをおうちの日よけに。まち中に広がり、エアコンの使用率が大幅減。

【団 体】エコミュー奥大井（川根本町地球温暖化対策地域協議会）

【タイトル】まちじゅうに広がれ！緑のカーテン

【活動概要】

地球温暖化対策地域協議会「エコミュー奥大井」は、川根本町の榊神田組（土木業）が中心となり結成された自治会、企業、観光協会、役場などで働くエコおやじの集まりです。家庭・商店の窓辺に「緑のカーテン」をつくったり、SL 目当ての観光客でにぎわう大井川鐵道の千頭駅前に緑のトンネル「通りゃんせ」をつくったり、特産の茶がらを自然乾燥させた「エコ茶がら」を配ったり。わいわい楽しく取り組んでいます。



代表になれなかった取組でも・・・

昨年はじめた「ストップ！温暖化アクションキャンペーン」で、今現在のエントリー数は 640 チーム。チーム人数 29,371 人、アクション参加人数 146,736 人と数の多さでは日本一です。静岡県センターが選りすぐってを紹介してくれます。

【問い合わせ先】

静岡県地球温暖化防止活動推進センター TEL 054-271-8806

<http://sgwcs.com/>

18. 富山県 「路面電車がゲンキな街。」

クルマがなくても、べんりな街へ。LRT でますます便利になる路面電車の街、富山。

【団 体】 富山市

【タイトル】 富山港線のLRT化による公共交通活性化の取り組み

【活動概要】

富山市では、車中心の拡散した都市構造からの脱却を図り、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めています。その一環として、平成18年4月に、鉄道路線であった富山港線をLRT化。従来、日中は1時間間隔だった運行本数を10～15分間隔にして終電時間の延長を図ったり、設備面では全車両に低床車両を導入し、段差の無いホームとあわせてバリアフリー化し、高齢者や体の不自由な方にも利用しやす



く改善。公共交通の利便性を高め、沿線に人口を誘導することで、都市機能の集積を図り、車に頼らなくても生活できるまちをめざしています。

【問い合わせ先】

富山県地球温暖化防止活動推進センター TEL 076-431-4607

http://www.tkz.or.jp/ondan_center/fram_set.html

19. 石川県「定期預金で、CO₂削減。」

定期預金の一部を環境団体に寄付できる、『きんしんエコロジー積金』。

【団 体】 金沢信用金庫

【タイトル】 金融商品を通じての地域環境保全活動の推進

【活動概要】

金沢信用金庫は、加入者に「直接的・間接的」環境保全活動に参加してもらう、「金融商品」としては全国の銀行・信用金庫で初のスキームとなる社会貢献型定期積金『きんしんエコロジー積金』を開発。加入者に『環境保全活動取組みチェックシート』を配付し、家庭又は事業所でCO₂削減に取り組んでいただき、そのチェックシートを提出した方にエコ記念品をお渡しします。また、その給付契約高の一部を環境団体に寄付しています。



【問い合わせ先】

石川県地球温暖化防止活動推進センター TEL 076-232-3991

<http://www.eco-partner.net/>

20. 福井県「エコをためて、おトクなショッピング。」

エコアクションでポイントが貯まったら、お店で割引。
おトクなエコポイントカード、大好評！

【団 体】環境パートナー池田

【タイトル】町ぐるみでエコ活動！ エコポイントが人と町をつなぎます

【活動概要】

エコ活動をポイント化しカードに貯め金券として利用する仕組みです。ポイント対象の環境行動をまち全体に広げているのが最大の特長で、一般店舗での3R活動のほか、環境・農業・教育機関など町内全体での関連活動も拾い上げ、様々な層の住民が少しずつ無理なく参加できます。ポイント発行・還元を行う協賛店には町内大半の商店が参加、地域振興面でも活用されており、独立した組織でそれぞれが企画運営でき継続性・発展性も確保。まち全体を巻き込んで、全体で大きなCO₂削減と町民の意識向上に成功しています。また環境を軸としたまちづくり活動という二次的効果も生まれています。



【問い合わせ先】

福井県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0776-30-0092

<http://www.stopondanka-fukui.jp/>

21. 長野県「7000人×家族が、エコでひとつに。」

29事業所7000人の従業員が一斉エコ行動。減らしたCO₂、40t！

【団 体】地域ぐるみ環境 ISO 研究会

【タイトル】地域ぐるみの温暖化防止一斉行動

【活動概要】

地域ぐるみ環境 ISO 研究会は、「地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境文化を創造する」ことを目的に発足した事業所ネットワーク。南信州29の事業所、従業員数約7,000人が加入。京都議定書の発効した2月16日や、環境の日の6月5日など、地球温暖化防止などに関わる記念日に、南信州域内の事業所全体に参加を呼びかけ、ノーマイカー通勤、夜10時以降のライトダウン、事業所ごとの温暖化防止に向けた行動に取り組んでいます。また取り組みの結果をCO₂に換算し、参加事業所や市民に報告し、温暖化防止の環を広げています。



【問い合わせ先】

長野県地球温暖化防止活動推進センター TEL 026-237-6625

<http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/>

22. 岐阜県「森の発電所。」

木くずを使った木質バイオマス発電「森の発電所」で、CO₂削減。

【団 体】東濃ひのき製品流通協同組合

【タイトル】木を活かし地球を守るお手伝い

【活動概要】

「東濃松」に代表される林業の町であり、林業、木材産業が地域経済を支えています。そのまわ全体で、加工過程で出る木くず（産業廃棄物）と、間伐で発生する未利用材を燃料とした「木質バイオマス発電施設」で電力をつくり、組合直営工場の動力を確保し、更に余剰電力を電力会社に売電。また、余熱で木材の人工乾燥も行っています。



【問い合わせ先】

岐阜県地球温暖化防止活動推進センター TEL 058-247-3105

<http://www.koeiken.or.jp/ondanka/>

23. 愛知県「ゲームで、なるほど！エコな交通。」

環境にやさしい交通って？ゲームで楽しみながら、学びます。

【団 体】(社)日本技術士会・中部支部・中部青年技術士会・持続可能な交通を考えるワーキンググループ (TMO)

【タイトル】「交通ゲーム」による環境啓発

【活動概要】

企業の枠を超えた技術者ネットワークというユニークな場を通じ、ゲームというツールを用いて「環境にやさしい交通選択」を市民に訴え、地球温暖化防止へ協力を求めています。ゲームを通じて考えることにより、交通手段の選択に影響することが期待されます。

また、開発した交通ゲームのマニュアル、ノウハウは公開し、無償で配布しています



【問い合わせ先】

愛知県地球温暖化防止活動推進センター TEL 052-627-0300

<http://www.kankyosoken.or.jp/ondanka.html>

24. 三重県「お客さんの9割が、もうマイバッグ。」

スーパーを中心にレジ袋有料化。もうええじゃんかマイバッグ持ってこ運動。

【団 体】マイバッグもってこ運動協議会

【タイトル】ええじゃんかマイバッグもってこ運動

【活動概要】

全国でも類を見ない、各事情に合わせたさまざまな「レジ袋削減モデル」を県内主要都市で構築し、点を線で結ぶことで全県運動に発展させた、今後のレジ袋削減のモデルケースとなりうる先進的取り組みです。



【問い合わせ先】

三重県地球温暖化防止活動推進センター TEL 059-253-4197

<http://www.mie-ondanka.org/>

25. 滋賀県「菜の花畑で、埋めつくそう。」

見て、食べて、石鹸にして、クルマも走れる。

スーパー野菜「菜の花」を、故郷のエネルギーに。

【団 体】NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク

【タイトル】資源循環地域システム「菜の花プロジェクト」の展開

【活動概要】

「菜の花プロジェクト」は地域分散・地域自立で資源循環型社会形成を推進する取り組み。家庭から出る廃食油をせっけんやバイオディーゼル燃料に精製して地域で活用します。

身近な廃食用油から化石燃料代替燃料ができ、CO₂削減に貢献できるのだと、市民が気づき意識転換することもある一つ。

住民の共感と参加の拡大を伴いながら地球温暖化防止等の問題解決と、農業・農村の再生も図ります。



【問い合わせ先】

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター TEL 077-524-7168

<http://www.ohmi.or.jp/ondanka/>

26. 京都府「ウッドマイレージって、知ってはる？」

高校生がチャレンジ！ 家作りの輸入材を国産材に替えるウッドマイレージで、CO₂削減。

【団 体】 京都府立北桑田高等学校 森林リサーチ科

【タイトル】 地元の木を使って「ウッドマイレージ」を減らそう！

【活動概要】

京都の北山地域に 1200 年間にわたり蓄積された林業技術は、世界に誇る京の建築文化を支えてきましたが、その北山林業も不況にあえぎ衰退しています。この地域に立地する高校が、木材の地産地消がウッドマイレージ（木材の輸送距離）を短縮して CO₂ 排出を削減することに着目し、地元の研究機関と連携して地元産スギ・ヒノキ材を使ったログハウスや家具を製作・提供。京都府から「府内産木材 取扱事業体」の認定を受けました。



【問い合わせ先】

京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL 075-211-8895

<http://www.kcfca.or.jp/>

27. 大阪府「エコあめちゃん、いらんか？」

大阪のおばちゃん同士が配りあう「あめちゃん」。エコ情報を載せて渡します。

【団 体】 大阪あめちゃん大作戦・推進本部

【タイトル】 あめちゃんひとつでコミュニケーション「レッツ・ストップ・温暖化」

【活動概要】

大阪のおばちゃんなら、みんなバッグの中に「あめちゃん」を入れている。友達にはもちろん、バスツアーで一緒になった人、電車で隣り合わせた子供など、配るために持ち歩いているといっても過言ではない。この「あめちゃん」にちょっとした情報を載せたら・・・？温暖化防止のメッセージ付きで、いくつかのイベントで配布中。100%受け取ってもらえるのがこの「あめちゃん」の威力。1 個食べている間に、チラシを読んでもらってます。



【問い合わせ先】

大阪府地球温暖化防止活動推進センター TEL 06-6266-1271

<http://www.osaka-midori.jp/ondanka-c/jigyo/nol/>